

二、報告内容

(一) 前言 (研究背景及目的)

本研究計畫主持人過去幾年來針對日語引用句和變化表達句進行了一系列的研究、前後共發表了十二篇論文、探討的重點主要就引用動詞和變化動詞的自他性及其所要求的補語 (必要成分) 的數量、種類為依據，將引用句和變化表達句做如下次類劃分

引用句：

- I Xガ+[]ト+發話思考動詞
- II Xガ+Yニ+[]ト+傳達動詞
- III Xガ+Yニ+[]ヨウ (ニ (ト)) +命令・認知動詞
- IV Xニハ+[]ト/ク/ニ+ (自發) 思考・感覺・認知動詞
- V (~ガ (形容詞性動詞)) テ+見エル/感ジラレル/聞コエル
- VI Xカ+Zヲ+[]ト/ク/ニ+感覺・知覚・評価動詞
- VII Xガ+ (Yニ) …コト/ノヲ+發話・傳達・認識動詞

變化表達句

- I Xガ V (變化自動詞)
- II XガY (名詞) ニ/ト V (變化自動詞)
- III XガY (連用語) V (變化自動詞)
- IV Y (補文) コト/ヨウ/トイウコトニナル
- V XガYヲ~化スル
- VI XガYヲZ (名詞) ニ V (變化他動詞)
- VII XガY (補文) ヨウニスル
- VIII XガYヲZ (連用語) ニ V (變化他動詞)
- IX XガYヲNV (名詞+動詞連用形) ニスル

並針對每種類型的句法結構、格關係、功能、語義特徵詳加分析闡釋，獲得相當具體豐富的成果。

在這一系列的研究當中除了解明引用句和變化表達句在句法結構上具有相當的共通點，亦即兩者都可用 1) 「名詞+格助詞」2) 「形容詞ク」3) 「形容動詞ニ」4) 助動詞「ヨウニ」5) 副詞 的形態來當引用節 (引用句) 和變化結果 (結果語) 的補語，另外亦發現引用動詞和變化動詞皆具有如下列句中的語法化 (grammaticalization) 現象。

- (1) ...旧部落の農家に新地部落の嫁を迎えることは稀だという。(『筑波山』)
- (2) 脳死問題となれば、学者も安易な発言はできない。(『日本語文型辞典』)
- (3) 森町といえば、昔から木材の産地だが最近は温泉が吹き出して話題になっている。
- (4) 台風が上陸するとすれば、明日の夜になるでしょう。(同上)
- (5) 医学部に入るとすると、一体どのくらいお金が必要なのだろう。(同上)

- (6) 医学部に進むとなると、相当にお金がかかるだろう。(同上)
- (7) 橋本派の幹部となる野中氏は党 3 役に強い影響力を発揮するだろう。
- (8) それだけに、イメージも重要な決め手となる公開討論では期せずして似たような服装にたどりついたのかもしれない。(同上)
- (9) 原因は回遊先の北洋でエサとなるプランクトンが減っているためらしい。(同上)
- (10) 往復航空機とも経由便又は乗り継ぎ便となります。(2000.1.21 読売)
- (11) 保証利用回数：ご利用金額にかかわらず、保証期間内一回 (=1 事故) 限りとなります。---お支払いは毎月五日となります。(2000.1.21 読売)
- (12) しかし、日本が 1%成長では小さい。3%成長を目指せというサマーズ長官のメッセージは実は市場が円買いを準備する布石になる。(毎日新聞 2000 CD-ROM)
- (13) 米国が航空の自由化を掲げて、業界が激しい闘いの時代に入ってからもう 20 年になる。(毎日新聞 2000 CD-ROM)
- (14) この言葉が広く知られるようになった 1987 年夏、ある C F が放映一週間で中止になった。(「日本社会」)
- (15) きゅうりとメンマの炒めもの：....から縦に六つ割りにする。ねぎは 5 c m の筒切りにしてさらに四つ割りする。(www.geocities.co.jp/)

例 1 句尾的「～という」在語義和功能上由原先引用動詞「言う」所具有的實質「引用」語義轉化成和表傳聞的助動詞「そうだ」相近的語法功能，例 2~6「～となれば」「～といえば」「～とすれば」「～とすると」「～となると」亦轉化成句中成分接續功能的用法，例 7~9 的「～となる」由基本義的「變化」轉變為和繫詞 (copula)「だ」「である」同功能的用法，例 10~11 的「となります」則用來表示對人態度、鄭重語氣的情態用法，例 12~13 則是表經思考推論後所得到的結果 (結論)，另外 14、15 句「になる/する」中的變化動詞「ナル」「スル」所具有的實質語義變淡薄，轉化成徒具語法功能的形式動詞。這一點，就句法結構而言，整句的論元結構 (argument structure) 不是由動詞「ナル」或「スル」決定，而是結果補語的「動名詞」本身的論元結構被繼承 (inherit) 可得到證明。此種動詞虛詞化的現象在日語的變化表達句極為普遍存在。

除此之外，述語動詞語法化的引用句和變化表達句都可觀察到「格支配」發生變化的共通現象。

如上所述，對日語引用句和變化表達句要達到通盤的了解，除了要掌握核心主結構（proposition）的格支配和補語—述語的語義關係外，對情態部分（modality）及述語動詞語法化（虛詞化）的產生原理加以解明，其重要性自不待言。

（二）研究方法

（1）採用的方法與步驟

本計劃擬以一年時間，針對述語動詞呈語法化、虛詞化現象的引用句和變化表達句分別依其文末結構分類為下列1、2、3類型加以探討並闡明其原理。

1 構句功能複合助詞化

① 提題助詞性用法 例：
〔～といえ／～という／～といったら／～とすれば
～となると／～となれば
～とすれば〕

② 接續助詞性用法 例：
〔～とはいえ／～といって
～と思う／～と思ったら
～とすれば／～としたら／～としても
～となると／～となれば〕

③ 接續詞性用法 例：
〔という
と思う
とすると
となると〕

2 連體修飾功能用法 例：
〔～というN／～といったN
～に／となるN〕

3 情態助動詞化用法 例：
〔～という（傳聞）
～と思う（敘述態度）
～とする（內容假定）
～に／となる（推論結果）
～に／となります（表對人態度／鄭重）〕

本研究將分別導入認知語言學的觀點探討引用動詞和變化動詞轉變成助動詞，形式動詞及語義情態化的語法化機制與傾向、應用格文法的概念來闡釋格支配的變化原理。另外針對變化表達句中的及果補語—複合詞「NV」就其內部結構、語法功能及語義特徵，最後將所獲得的研究成果作為基礎，分析和漢語之間的對應關係。

(2) 採用的原因

筆者過去對有關日語引用句和變化表達句的研究探討的主題皆以述語動詞的自他性及所要求的補語（必要成分）所構成的各種基本句式做次類劃分，並針對每種類型的句法結構、功能、語義特徵做詳細的剖析。雖然針對引用句和變化表達句述語動詞的語法化及語義轉化現象雖在相關地方偶有提及，但都尚未有系統深入地加以探討。基於此，為了對日語引用句和變化表達句能有通盤的了解與掌握，本研究之意義及重要性不贅多言

(3) 研究成果

本計畫分別就引用動詞「言う」「思う」「する」和變化動詞「なる」轉化為①連句功能的複合詞用法、②繫詞化的連體修飾用法、③情態助動詞化用法進行了研究闡釋，獲得具體的結論與成果，並已將研究成果分別發表於：

1. 2007年12月1~2日、東京外國語大學主辦「台湾における日本研究・日本語教育・外国語教育」国際シンポジウム
2. 2008年10月11~12日、北京清華大學舉行的「08'「日語動詞與周邊」日語語言學國際研討會

另外，並將已在東京外語大學口頭發表的論文

「引用動詞と變化動詞の文法化現象をめぐって—「言う」「思う」「する」「なる」を例として」修改後投稿於『政大日本研究 第6號』。

(4) 研究成果自評

相信透過上述一系列的研究，對有語法化和無語法化的引用句及變化表達句之間的語法功能和與義轉化並能進一步加以解明，另外對構成句子的兩大要素「命題」(proposition)和「情態」(modality)的關連性、連續性能有更深一層的了解與掌握。這些成果對於台灣國內的日語文法研究、日語教學及日語和漢語兩種語言間對比分析的理論建立與應用，應具有相當意義與價值。